

常設展 文学館アーカイブ 2024年度第2期

嗚呼、メロン島

柿本胤二遺作絵画展



2023年度に新たに収蔵された柿本胤二(かきもとたねじ 1920～2022)の絵画を中心に展示します。柿本胤二は太平洋戦争中にミクロネシア連邦ウォレア環礁(メロン島)に駐留し、補給が途絶える中、深刻な飢餓に苦しみながらも生き抜いて帰国を果たしました。その後、年数を経ても当時のことが忘れられず、80歳代になってメロン島を題材とした絵画を制作するようになりました。

展示ではご遺族より寄贈された柿本胤二絵画作品16点と、地図や書籍などの関連資料も併せて、兵士の飢餓の苦しみと望郷の念、そして鎮魂と無念の思いを伝えます。

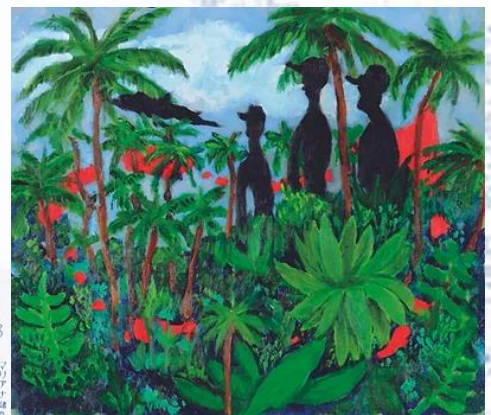
* 常設展示室内、文学館アーカイブコーナーでの開催です。



〈最後の埋葬〉2003年 油彩 27.5×45.5 cm



〈メロン島の幻影〉2001年 油彩 52.8×73 cm



〈珊瑚礁の記憶(II) 戦争は終わった〉2009年 油彩 45.7×53 cm

柿本胤二 (かきもとたねじ)
1920(大正9)年～2022(令和4)年



岩見沢市で誕生。岩見沢中学校(現・岩見沢東高校)卒業。横浜市立商業専門学校(現・横浜市立大学)繰り上げ卒業となり、1942年、樺太山砲兵連隊入隊。同年山砲兵第7連隊(旭川)に転属。
1943年、第24師団野砲兵連隊42連隊に転属し、満洲に赴任。
1944年、第7派遣隊として釜山港から出港。南洋群島カロリン諸島メロン島上陸。弾丸、食糧が爆撃により炎上し、その後補給も無く飢餓生活を送る。柿本小隊26名中、生還者3名。他は餓死。
1945年、引揚病院船にて帰還。
戦後はトヨタカーラ札幌の創業者として経済界に重きをなす一方で、メロン島戦没者の慰霊に尽力した。享年101歳。

2024年

6月25日(火)～
9月16日(月・祝)

9:30～17:00 (入場は16:30まで)

月曜日休館、ただし7/15、8/12、9/16日は開館

7/16、8/13(いずれも火曜日)は休館

7/19はカルチャーナイトで17:30～21:00も開館

常設展示室内 入口付近

文学館アーカイブコーナーにて

観覧料(常設展観覧料):

一般500(400)円 高大生250(200)円

(中学生以下、65歳以上無料 ()内は10名以上の団体
7/17(道みんの日)は無料。7/19(カルチャーナイト)17:30以降は無料。
7/1～8/31は高校生無料。

関連イベント

A 「嗚呼、メロン島—柿本胤二遺作絵画展」記念講演会

8月11日(日) 14:00～15:20 当館講堂

・第一部 置き去りにされた国防の最前線

谷口孝男(公益財団法人北海道文学館理事)

・第二部 忘れることのできない世界を描いて

苫名直子(北海道立文学館副館長)

聴講無料 事前予約制(7月23日・火9:00より電話受付) 50名

B 文学散歩「護国神社～文学館」

9月11日(水) 10:00～12:00

護国神社彰徳苑内「メロン島戦没者慰霊碑」～中島公園～
北海道立文学館のコースを歩き、本展覧会を觀賞後解散。

ご案内: 当館職員 参加無料

事前予約制(8月27日・火 9:00より電話受付) 10名

北海道立文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番4号

TEL: 011-511-7655 <https://www.h-bungaku.or.jp>

施設設置者:
北海道教育委員会
指定管理者:
公益財団法人北海道文学館